

国指定 名勝・史跡 国立公園 三徳山 日本遺産 三徳山・三朝温泉

みとくさんさんぶつじ

三徳山三佛寺

慶雲3年(706年)開山



三徳山・投入堂を世界遺産に!

三佛寺 奥院 国宝 投入堂
附 愛染堂

鳥取県三朝町

中国観音霊場 第三十一番札所 伯耆観音霊場 第二十九番札所 百八観音霊場 第三十六番札所

三佛寺宝物殿

宝物殿には、指定文化財を含め多くの寺宝が収蔵されており、入山された方は常時拝観できます。三徳山の特質は、山岳信仰の中から形成された独自の文化を示す国宝「投入堂」と、そこに祀られた「蔵王権現像」7体に象徴されます。像はいずれも平安後期の造立です。

収蔵物

投入堂棟札・古材（国宝）

木造蔵王権現立像7体（重文）

木造十一面観音立像（重文）

銅鏡（重文）

中国浙江省に同型で造られた鏡が存在します。

源頼朝奉納刀

釈迦誕生仏 ほか

拝観時間 8:00~17:00

拝観無料

※冬期（積雪状況による）は
休館する場合があります。

三佛寺 奥院 国宝 投入堂（表紙）

投入堂は、役行者が法力で岩屋に投げ入れたと言われており、この名がついています。標高520メートルのところ、後部を岩屋にすえ、前面は断崖に向けての舞台造り。近づく道すらない垂直な崖に浮ぶとも建つとも表現しがたい優美な姿をかもししています。

年輪年代測定により、平安時代後期の建築であることが実証されました。神社本殿形式で、この時期まで遡る建物は全国でわずかに3棟。この内の2棟、投入堂と納経堂が三徳山に在ります。

蔵王権現立像（投入堂正木尊）
慶雲三年（七〇六）役行者により末法の世の衆生済度せんがために三徳山修験道の中心的な建物である投入堂の本尊として安置された。体内から発見された願文により康慶の作と判明した。



三徳山全景



三徳山イメージキャラクター「みとちゃん」



鐘楼堂 (県指定保護文化財)

その昔、険しい山路をどのようにして運び上げたのかとても不思議に思われます。(重量2トン)



地藏堂 (国指定重要文化財)

【室町時代末期の建造】
文殊堂から岩に手をたずさえて歩めば地藏堂に到着します。規模・構造とも文殊堂によく似たお堂です。



文殊堂 (国指定重要文化財)

【安土桃山時代の建造】
宿入橋から投入堂へはまさに道なき道。その中間を過ぎたあたりに文殊堂があります。岩上に建立された舞台造りとなっていて廻り縁に立つと大山が遠望できます。

投入堂・不動堂
元結掛堂・観音堂・納経堂

鐘楼堂
地藏堂

文殊堂
クサリ坂

カズラ坂

宿入橋

三徳山参道入口



クサリ坂

文殊堂の所、目の前に立ちふさがる巨岩をクサリを手にして越えていきます。



三佛寺本堂 (県指定保護文化財)

老杉の繁る境内には、千有余年の長い間、霊地として保護され、培われてきた仏教の神髄が強くたちこめています。



シャクナゲ

境内には約3千本のシャクナゲが群集しています。
開花期：4月下旬～5月初旬



カズラ坂

さながらフィールドアスレチックのように木の根のいりくんだ急斜面をよじのぼります。



宿入橋

山門をくぐり、宿入橋を渡る。ここから峯入り(行の始まり)です。



参道入口

ふもとから本堂に至る300mの石段の両側には、皆成院・正善院・輪光院の三つのお寺が並んでいます。

※県道・町道は駐車禁止です。ご協力ください



至三朝温泉

参拝登山事務所から道のり約600E(標高差約200E)
所要時間(往復)約1時間30分〜2時間

主な年中行事

- 〔1月元旦〕修正会（初詣）
- 〔2月3日〕節分・星祭（豆まき）
- 〔4月1日〕慶雲入峰（山開き）
- 〔4月18日の次の日曜日〕春会式（三徳縁）
- 〔7月18日〕夏会式（大般若会）
- 〔8月16日〕万灯会
- 〔10月最終日曜日〕秋会式（炎の祭典）
- 〔12月31日〕除夜の鐘
- 〔毎月18日〕おかゆの日



▲にじます塩焼



▲三徳とうふ

▲きなこもちもち

主な文化財

国宝 ❖ 投入堂 附 愛染堂（三佛寺奥院）

重文

- ❖ 木造蔵王権現立像7体
- ❖ 木造十一面観音立像 ❖ 文殊堂
- ❖ 地蔵堂 ❖ 納経堂 ❖ 銅鏡



▲三徳山名物料理（精進朝食一例）

各お寺と茶店では名物の豆腐や山菜料理、また川魚料理などご賞味いただけます。
お寺精進料理要予約。（朝食 1,500円～）
（昼食 3,000円～）

	名称	電話 (0858)	fax (0858)	宿泊 人数	食事 人数	ご紹介
宿坊	輪光院	43-2667	43-2661	20	90	鳥取藩主池田公が三徳山詣での食処寺院、名物三徳豆腐やとち餅を使った精進料理を閑静な宿坊でどうぞ。
	正善院	43-2668	43-2707	-	-	現在ご利用できません。
	皆成院	43-2882	43-2922	50	150	中国四十九薬師霊場、第四十三番札所。厄除けのお寺で精進料理をどうぞ。

*宿坊と食事をご利用の場合は、3日前にご予約をお受けします。料金はご相談に応じます。

茶屋	谷川天狗堂	43-2663	43-2669	-	50	山菜定食、山菜うどん等地元で採れた山菜を利用して。自家製三徳豆腐、黄粉とちもちも是非ご賞味ください。
	みとく苑	43-2662	43-2682	-	50	三徳川の冷水で育てた虹鱒と山菜の料理をお楽しみください。（虹鱒の釣り堀、竿1本3,000円、10尾まで）
	みとく茶屋	43-0743		-	30	眼下に三徳川をのぞむテラス席が人気の茶店。三朝名物とちもちぜんざいや、三徳豆腐をご賞味いただく甘味処。

*団体のご利用の場合は、3日前にご予約をお受けします。料金はご相談に応じます。冬季は閉店する場合がありますのでご確認ください。

交通

お車で

中国自動車道 院庄ICから約1時間10分
米子自動車道 湯原ICから約1時間

路線バスで

三朝温泉から約15分(7km)
(※路線バスは便数が少ないのでご注意ください)

JRで

山陰本線 倉吉駅からバスで約40分

飛行機で

鳥取空港からシャトルバスで約60分

○日ノ丸バス 0858-26-4111
日ノ丸ハイヤー 0858-22-3155
日本交通タクシー 0858-22-7111

福德

遙拝所から観た投入堂
附 愛染堂

智徳

千軒原から観た地藏堂・文殊堂

寿徳



炎の祭典(採燈護摩大法要・火渡り神事)



三朝温泉河原風呂

三徳山のはじまり。

その開山は慶雲3年(706)にさかのぼります。
役行者が3枚のハスの花びらを散らし、「佛教に縁のあるところに落ちるように」と祈ったところその1枚が伯耆の三徳山に落ち、この地を修験道の行場として開いたのがはじまりとされています。

その後、嘉祥2年(849)慈覚大師によって阿弥陀如来・大日如来・釈迦如来の三尊が安置されたので、天台宗三徳山三佛寺と称し、堂舎38宇・寺3千軒・寺領1万町歩・3千石を領していました。

平安時代には山岳仏教の霊場として信仰され、全国森林浴の森百選にも選ばれた、豊かな自然と山中に点在する諸堂は往古のまま今に残されています。

参詣案内

本堂までの参詣の方は、参詣受付案内所で入山料をお支払い下さい。

大人400円／小・中学生200円(宝物殿入館含む)
団体割引50円引き(20名以上)

受付時間：午前8時～午後5時

投入堂参拝登山案内

投入堂まで参拝登山される方は、本堂裏の入峰修行受付所(参拝登山事務所)で手続きを行って下さい。

志納金：大人200円／小・中学生100円
(入山料とは別に必要です)

※平成29年4月1日より変更になります。
大人400円／小・中学生200円

- 参拝登山受付：午前8時～午後3時
- ※往復所要時間：登山事務所から約1時間30分～2時間
- ※参拝登山の受付は必ず2名以上からとなります。
- ※険しい箇所あり、十分ご注意ください。凹凸のある運動靴かトレッキングシューズで登ること(靴はすべり止め金具の付いた登山靴は御遠慮下さい)。
- ※雨天荒天、積雪時は、参拝登山禁止。
- ※修行道・参拝道での金品の紛失・怪我等責任は負えません。十分な自己管理をお願いします。

問い合わせ

三徳山へ参拝の折には、世界屈指のラジウム温泉『三朝温泉』へぜひお越しください。

三朝温泉観光協会
〒682-0123
鳥取県東伯郡三朝町三朝
☎0858-43-0431 FAX 43-0430
<http://spa-misasa.jp/>

三徳山三佛寺
〒682-0132
鳥取県東伯郡三朝町三徳
☎0858-43-2666 FAX 43-2661
<http://www.mitokusan.jp/>